

留学だより⑧



ナマステー！AFS でインドのパンジャブ州に留学中の井之前です。インドは毎日 25℃ほどで、東京で雪が降ったと聞いて驚いている今日この頃です。

1, 結婚式シーズンの到来 2, クロスカントリー大会 3, クリスマス

今回はこの三本立てでお送りします！ぜひ最後まで読んでくださいね。

1, 結婚式シーズンの到来

日本では結婚式をあげない人が増えている中、インドでは結婚式はあげないという選択肢はなく、数日間に亘り盛大に開催しなくてはならない、人生の一大イベントです。11 月に入ると気温も下がり、12 月下旬まで結婚式シーズンが続きます。私の家は結婚式場が集まっている地区にあり、6 つの結婚式場と隣接しています。夜になると花火をバンバンあげ、近所迷惑という概念は存在しないかのような音量で音楽をかけ、いよいよ結婚式シーズンが到来したかと感じます。

今回はヒンドゥー教の伝統的な結婚式の流れを詳しく紹介していきたいと思います！

1. 結婚前の儀式

① ラグナ/ローカ（婚約式）

両家が集まり正式に承認する儀式のこと。お互いに贈り物や甘いものを交換する。昔は新婦側からお金や家具などを大量に渡さなければならず問題視されていたので今は禁止されているとか。

② メヘンディ（ヘナの儀式）

新婦の手足にヘナタトゥーを施す。長寿や幸せを願うためだそう。このために新婦は何時間も同じ姿勢で待たなければいけないのですごいなーと思う。

③ ハルディ（ターメリックの儀式）

新郎の顔、足、腕つまり全身にターメリック（ウコン）のペーストを塗りたくる。ターメリックには美肌やリラックス効果があるといわれているが、親しい人や家族で行うので新郎はターメリックでめっちゃくちゃにされるまでがセット。ターメリックは黄色なのでみんな

な黄色い服で参加するのがドレスコード。



2. 結婚式当日

① バーラート（新郎の入場）

新郎が馬、ゾウ、車に乗って花嫁のいる所まで移動する。新郎の家族、友達が音楽とドラムに合わせて一緒に移動する。でも家族や友達が盛り上がりすぎてかたつむりと良い競争になるほどゆっくりなので、歩けば10分のところを1時間かけることもザラ。

② ジェイマラ（花の首飾りの交換）

新郎新婦が花の首飾りを交換する。これはお互いを受け入れるという意味があるとか。

③ フェレ（聖火の周りを7周する）

一周ごとに意味がある。これが重要と聞いたが、まだ見たことはない。



3. 結婚後の儀式

① ビダイ（花嫁の別れ）

新婦が家族に別れを告げて新郎の家に向かう。感動！

② グリハ・プラヴェシュ（新郎の家に入る儀式）

新婦が新郎の家に到着して最初の一步を踏み出す儀式。米を蹴って入ることもあるそう。

③ レセプション（パーティー）

新郎新婦がお互いの家族や友達を招待して盛大に行われる。ダンス、音楽、ビュッフェなど。友達の家族全員招待するなど、人生で少しでも関係のあった人全員を招待するので誰の結婚式か分からずに来ている人も多数。



説明するだけでも疲れてしまいました。こんな感じでインドの結婚式は小石川という行事週間なんです。身内ネタなので伝わるか不安ですが。

こんな大規模な結婚式となると、気になるのは金銭面。費用はピンキリですが、平均的な結婚式でも 1000 万ほどかかるといわれます。また、インドでは花嫁側の家族が費用を負担することが多く、女の子が生まれると赤ちゃんのうちから結婚式資金のために貯金をするそうです。

結婚式シーズンは 11 月から 12 月と 2 月から 3 月と 2 回あるのでまた次の結婚式シーズンでまた詳しく書きたいなと思います。

2, クロスカントリー大会

11 月 30 日に学校で開催されたクロスカントリー大会。日本では地獄のように感じる持久走もクロスカントリーと聞くとなんだか気持ち速く走れそうな気がします。学校にはなんと朝の 6 時集合。冬ということもありまだ空も真っ暗で友達の顔を認識するのも一苦労の中、時間差で男子女子が出発します。中高校生女子は学校の近くの道路を 3km 走ります。

最初は寒くてスムーズに動かなかった体も次第に動くようになり、3 km は思ったよりあっという間だったなというのが感想です。強いて言うなら中継地点に立っている先生たちが撮っていた自分の写真の写りが心配です。

結果は中高校生女子で3位になりました。小石川では持久走のランキングの20位くらいにいるのに、インドに来た途端に3位になれてしまうことに驚きです。



3, クリスマス

日本ではクリスマス間近になると backnumber を聞き始めたり、クリぼっちがなんだと騒ぐのが定番ですが、インドではあまりクリスマスを祝うという文化がないのが正直なところ です。

元々インドにはキリスト教徒はインド全体の人口の約2-3%ほどしかいないので(それでもインドの人口は14億人超なのでたくさんいる)、町中がイルミネーションやクリスマスソングで、埋め尽くされるということはありません。しかし、クリスマスは宗教という枠を超えて世界中で祝われているので、ヒンドゥー教のホストファミリーもクリスマスをお祝いしました。クリスマスの1週間ほど前にクリスマスツリーの飾りつけを行い、ホストシスターと二人でオーナメントを手作りしました！犬好きの家族なので、犬の手形をつけたオーナメントや、クッキー型でくり抜いてペイントして可愛く仕上げました。



そしてクリスマスイブ！クリスマスイブは私たちの住む町から 1 時間ほど離れた Chandigarh という大きな町に行ってクリスマスマーケットとショッピングに行きました。クリスマスマーケットと言っても北米やヨーロッパに留学している人が行くような豪華な本場のものではなく子ども用のアトラクションがいくつかあり、ちょっとしたホットドッグやピザか食べられるような場所です。クレーンゲームを無料で 3 ゲームできたのですが、つかむ力が弱すぎるクレーンゲームだったので見たところ誰も取れている人はいませんでした。ずるいですね。

お昼ご飯はホストファミリーが日本食屋さんに連れて行ってくれました。学校の友達にも何回も紹介されていたのでずっと行ってみたいと思っていた場所です。メニューにはラーメン、うどん、寿司、天ぷらなどがありました。しかし私の住む地域にはベジタリアンがとっても多いのと、内陸地にあるということでももちろん生のお魚など提供されるはずもなく海外でよく見るカルフォルニアロールのようなものが出てきました。中には揚げたアスパラガスが入っていて、味付けも控えめで私にとっては久しぶりの日本食で最高に美味しく感じましたが、インド人にはちょっと物足りない味付けだったようです。また、うどんも注文しましたが、うどんと言うよりかはベトナムのフォーのような感じで、出汁は残念ながら全くちがうもので、うどんとは言い難いものでしたが、ホストファミリーには 1 番好評でした。自分の国の食べ物を美味しいと言って貰えるだけでも嬉しいし、わざわざ私のために日本食料理屋に連れていってくれたホストファミリーにも感謝です。そして日本食レストランが、かなりお高めのレストランであったこともびっくりしました。



ついにクリスマス当日！クリスマス当日はホストファザーの親友達とその家族と一緒に祝いしました。合計 20 人ほどで大盛り上がりです。外は 10℃ほどで日本と比べたら暖かいです、焚き火をしてそのまわりに座ってお喋りをしたり、コックさんが BBQ をしてくれているのでパニール(インド版カッテージチーズ)、マッシュルーム、野菜などを食べました。お客さんの中にはノンベジタリアンの人もいたのでついに私もチキンを食べることができました!! 歓喜！こんなにお肉を食べられるだけで嬉しいのは留学中だけかもしれません。5 か月ぶりのお肉！体にしみわたりました。

インドなので、人があつまるとインド音楽をかけてみんなで踊ります。そして、クライマックスは、クリスマスプレゼントです。クリスマスツリーがあるところに連れて行かれ、子どもたち一人ひとりにギフトがあって、高校一年生なのにサンタが来てくれて嬉しく感じました。水筒とジェンガとインドの女子なら誰もが持っている香水をもらいました。留学生なのに本当の娘のようにサンタさんが来てくれて最高のクリスマスになりました。



あとがき

留学だよりの更新が遅くなってしまい申し訳ありませんでした。インドがとても楽しすぎ、タイムリーに提出できませんでした。既に帰国し、インドロスの日々を過ごしていま

すが、自分の留学生活について最後までとめたいと思っていますので、次回もお楽しみに！

16期 井之前